

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H21.11.30現在)

	11月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成21年度(今年度)	17件	71件	0人	28人
平成20年度(昨年度)	9件	59件	1人	32人

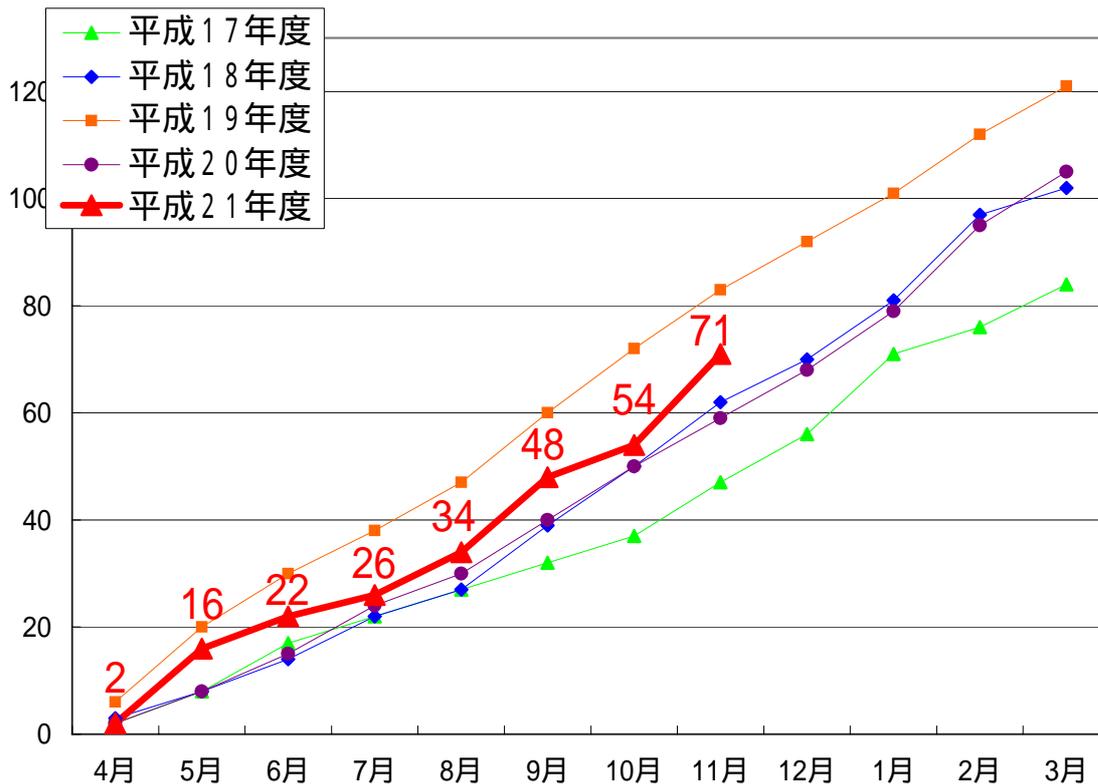
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

注2) 「11月発生件数」は、11/1～11/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～11/31の間に起きた件数。(累計分)

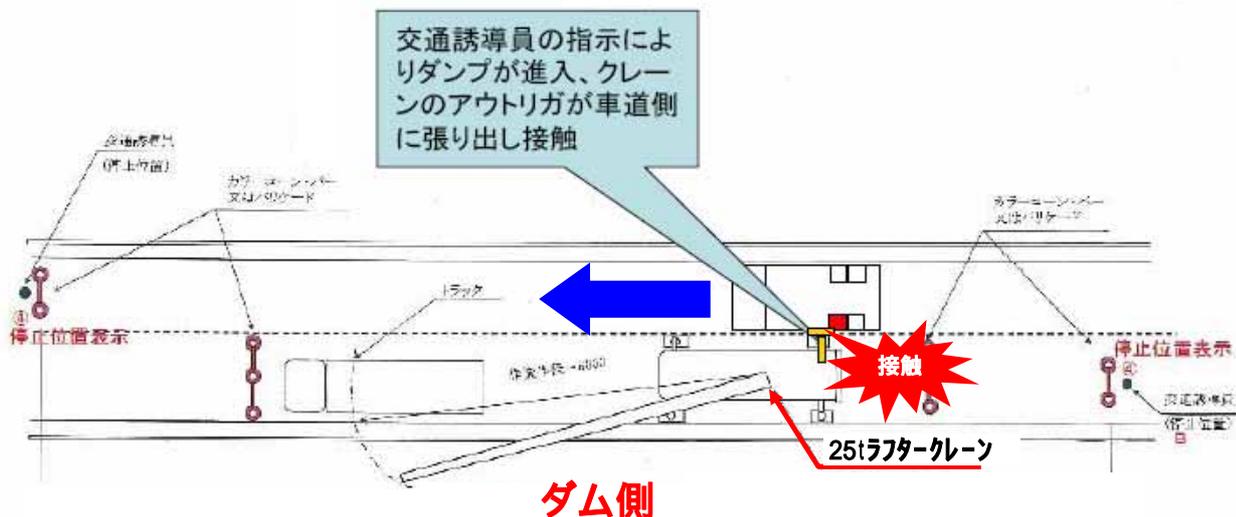
注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～11/31の累計人数を示す。

注5) 平成21年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



発生日時	平成 21 年 11 月 2 日 ( 月 ) 10 時 55 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 機械設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般ダンプ左後輪バースト、左サイドスカート損傷	
事故概要	片側交通規制にて一般車を誘導していたところ、規制帯内のクレーンのアウトリガーが中央線よりはみ出してしまい、走行中の一般車(ダンプ)に接触し、損傷させたもの。				

## 事故発生状況



サイドスカート損傷



タイヤ破損損傷

- ・ダム天端より修繕用部品を吊り下ろすため、道路を規制してラフタークレーンを配置した。
- ・アウトリガーを張り出したところ、**規制帯からはみ出し、走行中のダンプトラックに接触**して損傷させた。

### 【事故発生原因】

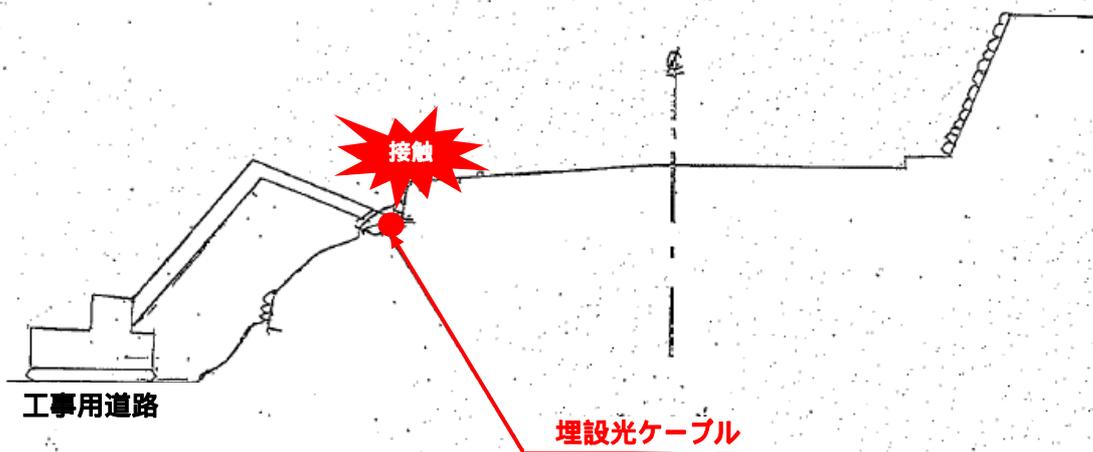
- ・オペレータへ新規入場者教育、作業手順を説明してから作業を開始する予定であったが、**意思疎通を十分に行わないまま、安全管理を怠り、運転席からアウトリガーを操作**したこと。(オペレータへの作業手順、指示が適切なタイミングで行われていない。)

### 【事故防止のポイント】

- ・**作業手順とともに作業に応じた安全上の注意及び指示事項の周知徹底**する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 4 日 (水) 10 時 15 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	事務所光ケーブル(カメラ)切断	
事故概要	歩道設置用の組み立てブロック設置のため、掘削作業を行っていたところ、誤って埋設してあった光ケーブルを切断してしまったもの。				

### 事故発生状況(断面図)



・工事施工前、光ケーブル埋設位置を確認。  
 ・丁張りを設置して、掘削範囲を示していたが、掘削ラインを超えて作業を行ってしまった。

**【事故発生原因】**  
 ・掘削方法の周知が不十分だった。



損傷箇所

**【事故防止のポイント】**  
 ・当日の作業内容の周知・徹底  
 ・バックホウ操作位置から離れた場所を掘削する際は**刃先監視人を配置**する。  
 など

発生日時	平成 21 年 11 月 6 日 ( 金 ) 15 時 00 分			天候	晴
工事情報	管繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	外壁吹付剤が河川に流出	
事故概要	外壁吹付作業で使用したホースを洗浄した水が、雨水桝から河川へ流出し、汚濁させたもの。				

### 事故発生状況



・外壁吹付け作業で使用したホースを水で洗浄した。  
 ・洗浄に使用した汚水は汚水桝に放流する様に事前に指示を受けていたが、作業箇所近辺にあった雨水桝にそのまま放流してしまった。(汚水桝が作業箇所から遠かったため)  
 ・濁水が近隣の河川に流入し、一時的に河川に濁りが生じた。



河川流入状況  
(発生直後)



河川流入状況  
(バキュームにて吸入後)

#### 【事故発生原因】

・本来、産業廃棄物処理すべき汚水に対して、作業員に誤った指示をしていたこと。

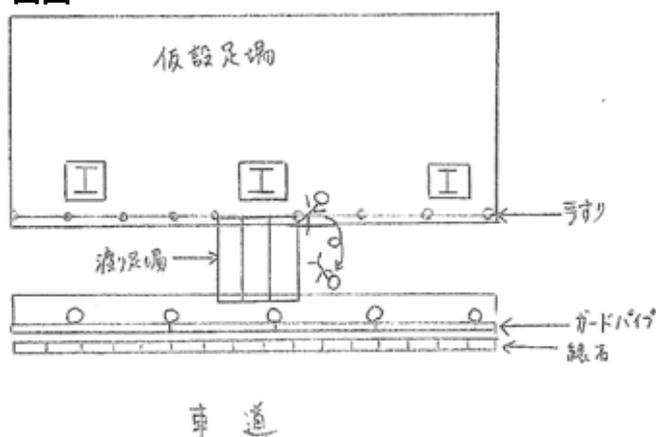
#### 【事故防止のポイント】

・関係法令等を確認し、**汚水の適正な処理を行う。** など

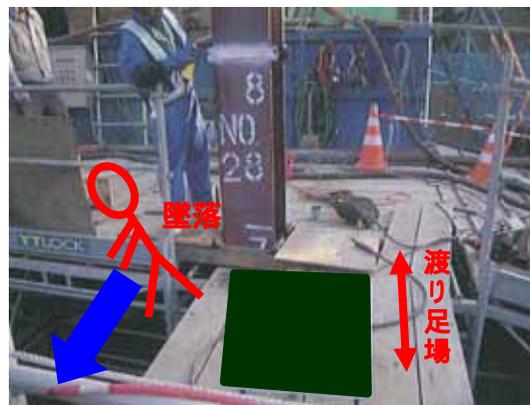
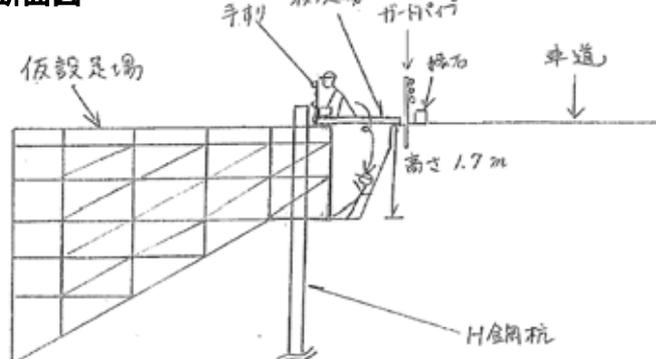
発生日時	平成 21 年 11 月 6 日 ( 金 )	17 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	34	作業員	肩脱臼
事故概要	仮設足場と車道を結ぶ通路として設置していた、渡り足場(地上1.7m)から作業員が墜落したものの。			

## 事故発生状況

### 平面図



### 断面図



- ・事故当日、H鋼杭の継手溶接作業を行っていたが、17:15に作業は終了し、17:20より片付け作業を行っていた。
- ・その際、辺りが薄暗かったこともあり、仮設足場から車道側に設置していた渡り足場から作業員が足を踏み外し、高さ1.7m下に墜落した。

#### 【事故発生原因】

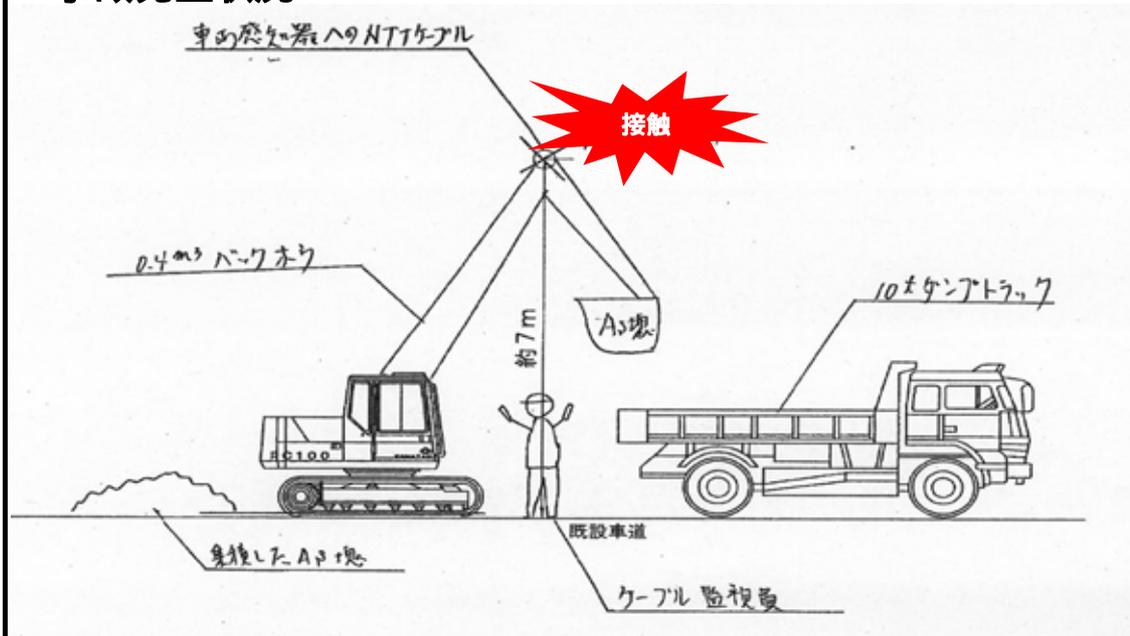
- ・墜落の危険性がある箇所にもかかわらず、必要な安全対策を講じていなかったこと。

#### 【事故防止のポイント】

- ・墜落の危険性がある箇所については手すり等を設置する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 7 日 ( 土 ) 16 時 05 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	県警車両感知器ケーブル切断	
事故概要	バックホウにて舗装版撤去・積込時、県警所有の車両感知器ケーブルにバックホウのアームが接触し、切断したものを。				

## 事故発生状況



切断したケーブル

・既存の舗装版を取り壊し、積み込み作業を行っていたところ、上空の架空線にアームが接触し切断させた。

・架空線対策としてのぼり旗、三角旗の掲示、専属の監視人を配置していた。

### 【事故発生原因】

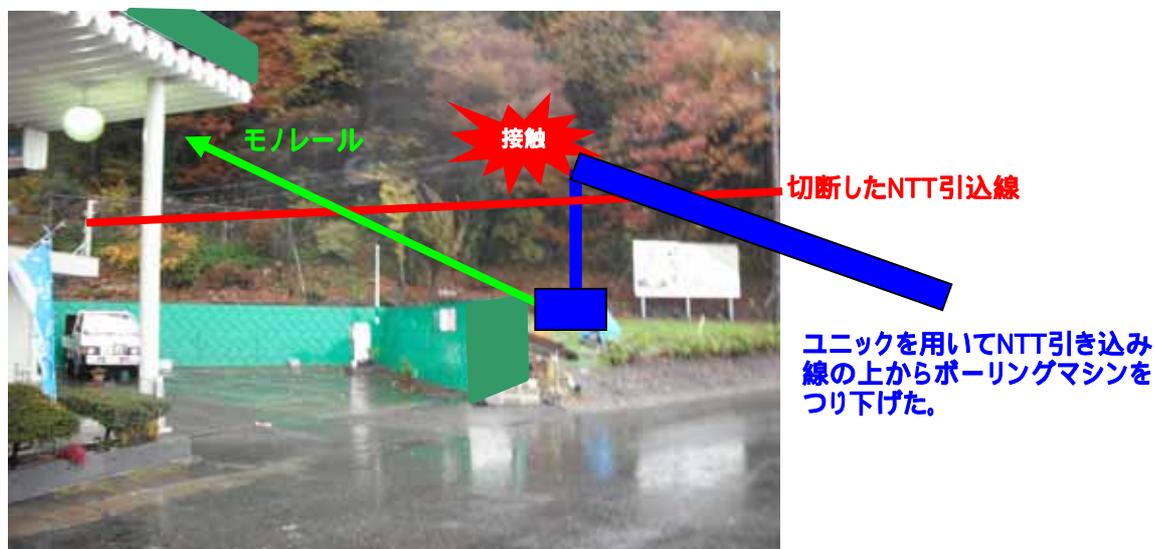
・オペレータに対して、架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分だったこと。

### 【事故防止のポイント】

・重機回転時、移動時には周囲の状況を目視で確認する。  
・架空線近接作業時の安全管理を周知徹底。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 11 日 (水)	9 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	架空線(NTT引込線)損傷 約2時間断線
事故概要	ボーリング調査で使用するマシンをユニックにて降ろそうとした際、上空の架空線にアームが接触し、			

## 事故発生状況(断面図)



- ・ボーリングマシンをユニック車にて搬入し、事前に設置したモノレールにて現地に運ぶ予定だった。
- ・ユニック車からボーリングマシンを降ろす際、伸ばしたアームの直上に架空線があり、所定の位置に搬入することが出来なかった。(当初はNTT引き込み線の下を通す予定だった。)
- ・その場で架空線を跨ぐ方法に変更し、ボーリングマシンを搬入することに作業を変更した。
- ・その後、搬入作業は完了したが、ブームの収納を行った際、ブームの下方が架空線に接触し、切断してしまった。

### 【事故発生原因】

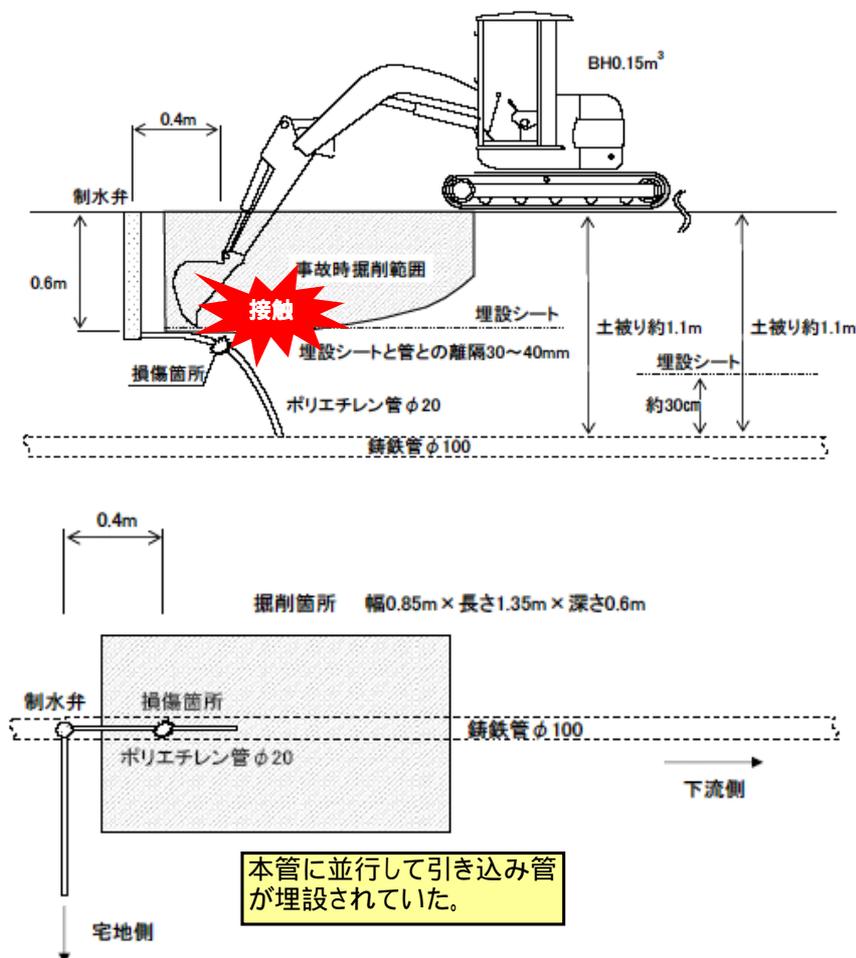
・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。

### 【事故防止のポイント】

・架空線が近接する箇所での作業時には事前に作業方法等を協議し、作業員に対して、周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 13 日 ( 金 ) 11 時 30 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	水道管(引き込み管) 20を損傷		
事故概要	水道管(引き込み管)の確認のための掘削作業中、誤って引き込み管を破損させたもの。		

## 事故発生状況



・施工計画では、50cmまでは機械掘り、その後は手掘りで試掘する予定だった。  
 ・周辺の掘削状況を踏まえ、80cmまでは機械掘り、その後は手掘りで行うことにした。  
 ・結果60cmのところ引き込み管に接触し、漏水が発生。  
 (引き込み管の存在は事前に把握していたが、上図のような配管状況は想定していなかった)

### 【事故発生原因】

・監督員と事前協議を行わず、その場の判断で、施工計画以外の方法で作業を行ったこと。

### 【事故防止のポイント】

・施工計画に変更が生じた際は、必ず監督職員と協議する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 14 日 ( 土 ) 10 時 10 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	民家の窓損傷	
事故概要	強風であおられた工事警告用看板が、近隣の一般状況に飛び、窓ガラスに接触・損傷させたもの。				

## 事故発生状況



・工事警告板の設置は砂入り土嚢1袋で固定していた。

・当日は風が強く、土嚢が外れ、**看板が強風であおられ、近隣の民家窓ガラスに直撃。**



窓ガラス破損状況

### 【事故発生原因】

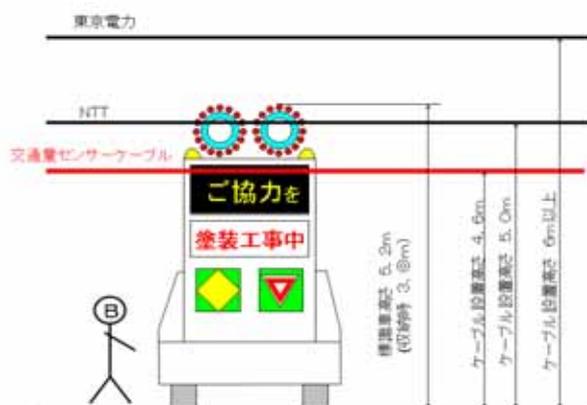
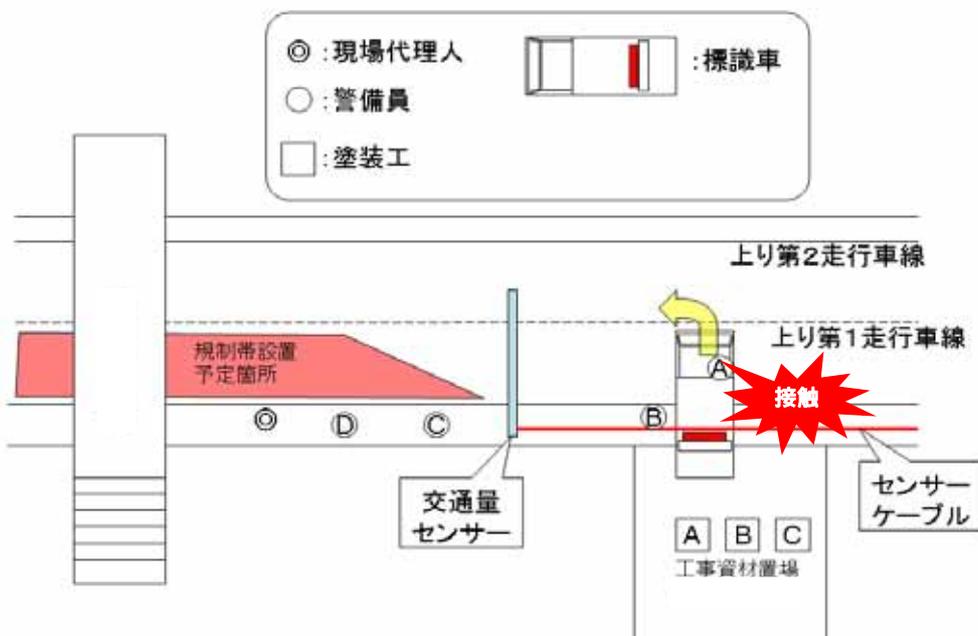
- ・強風に対する安全管理が不十分だった。
- ・土嚢と看板が確実に緊結されていなかったため。

### 【事故防止のポイント】

- ・木杭で固定する。
- ・日々の安全点検の強化 など

発生日時	平成 21 年 11 月 14 日 (土) 21 時 00 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 塗装工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	被災の程度		
事故概要	規制車を現場直近の資材置き場から出す際に、昇降式標識を上げたまま走行したため、上空の架空線に接触し、切断したもの。		

## 事故発生状況



・規制車運転手Aは資材置き場から国道に出る際、誘導員Bの指示により昇降看板を上げて出たため、架空線に接触し、切断。

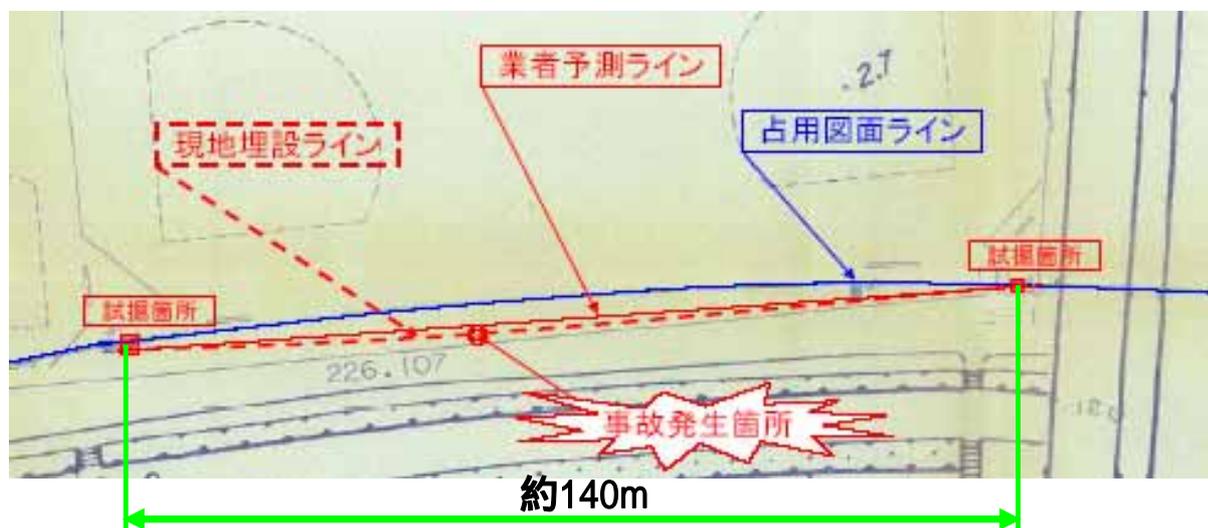
**【事故発生原因】**  
 ・誘導員が独断で作業手順と異なる指示をしてしまったこと。  
 (本来、走行中は看板を下ろす。)  
 ・作業現場では架空線に対する安全対策を行っていたが、資材置場での安全対策が不十分だったこと。



**【事故防止のポイント】**  
 ・資材置場も含め、架空線が近接する箇所においては、作業方法等を協議し、作業員に周知徹底を行う。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 19 日 (木) 10 時 50 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	水道管(50給水管)破損	
事故概要	パワーブレンダーにて地盤改良中、埋設されていた水道管(50給水管)に刃が接触し、破損させたもの。				

## 事故発生状況



・事前に入手した占用図面(上図)にて、水道管が埋設してあることを確認。  
 ・両サイドに分岐柵があったため、試掘を行い、管路の方向を**想定**した。  
 (分岐柵間140mについては試掘無し)  
 結果、地盤改良中に埋設管に接触し漏水が発生した。

### 【事故発生原因】

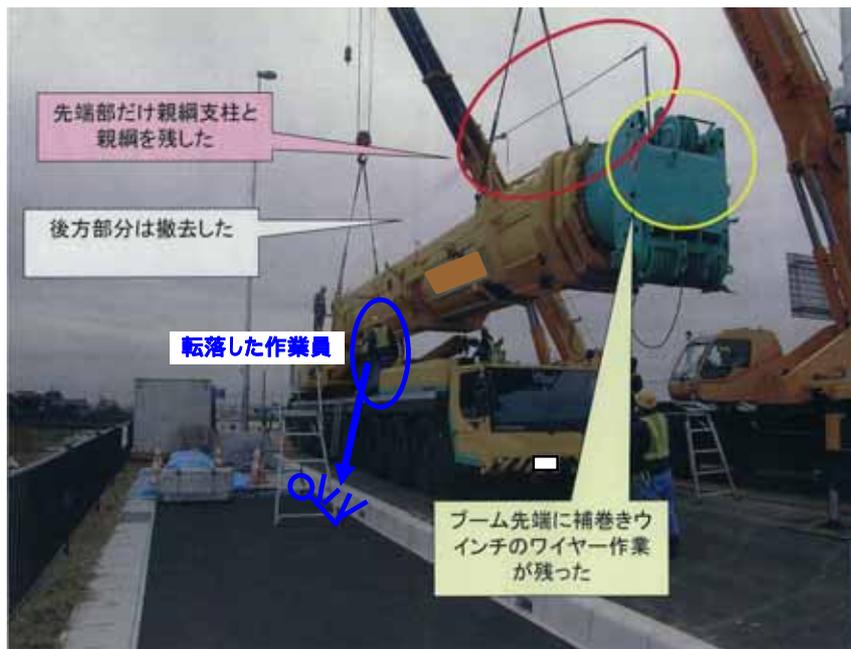
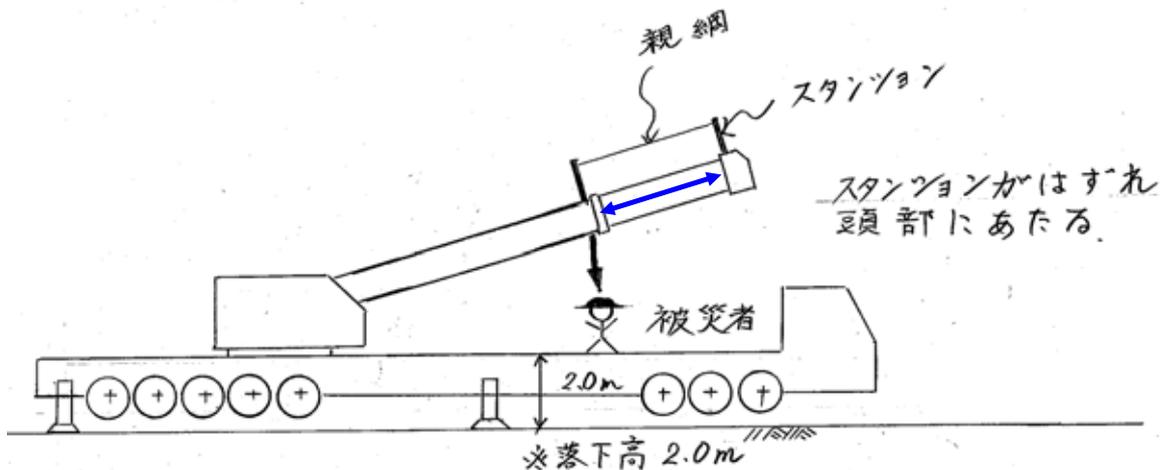
・分岐柵の試掘のみで埋設状況を推定し、工事を行っていること。

### 【事故防止のポイント】

・埋設が予想される箇所については必ず管理者の立ち会いを受ける。  
 ・中間点にて断面方向の試掘を行い、埋設深さ・位置の確認を行う。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 19 日 ( 木 ) 13 時 20 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	鼻骨骨折・肩脱臼	
事故概要	スタンを付けたままクレーンのブームを伸ばしてしまった結果、スタンが外れ、その勢いで作業員に接触し墜落した。				

### 事故発生状況



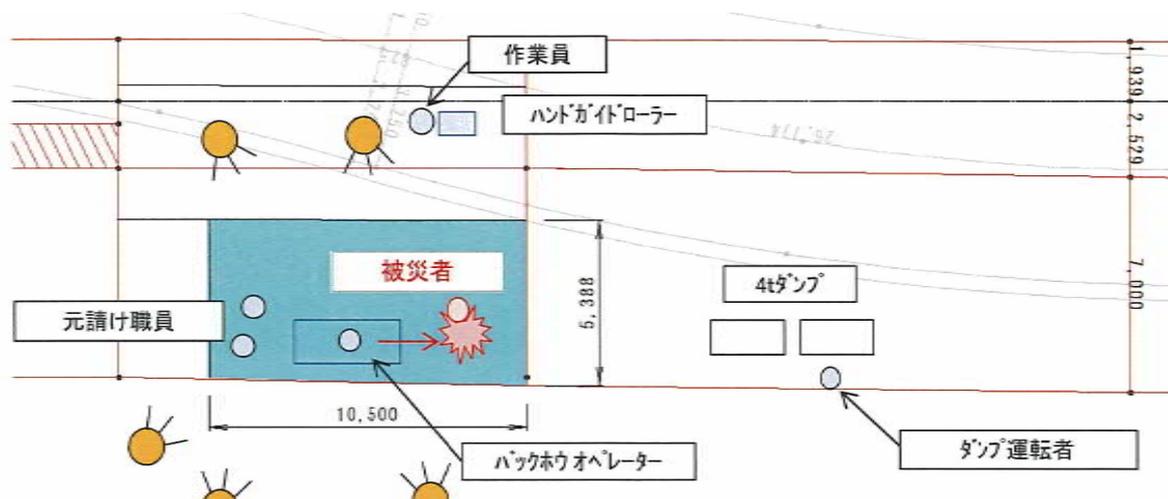
- ・クレーンの組立作業のためブームにスタンを設置して作業していた。
- ・組立作業は終了したが、先端部分の**スタンを残したまま**、次の作業に移ってしまった。
- ・ブームを伸ばした反動でスタンが外れ、クレーン上に居た作業員に接触、転落した。

**【事故発生原因】**  
 ・スタンの残置について、作業指揮者、クレーンオペレータの伝達・確認が適切に行われていなかった。

**【事故防止のポイント】**  
 ・機械稼働時の確認・伝達方法を再度徹底する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 21 日 (土) 0 時 42 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	55	作業員	右下肢圧挫傷	
事故概要	バックホウにて碎石の敷き均し作業中、誘導員が転倒し、後退したバックホウのキャタピラと誘導員の足が接触。負傷したものを。				

## 事故発生状況



事故再現写真

- ・被災した作業員は、後進するバックホウの誘導を行っていた。
- ・誘導途中に碎石に足を取られ、転倒してしまった。
- ・作業員は誘導する際、**バックホウに近接していた**ため、キャタピラに挟まれてしまった。

### 【事故発生原因】

- ・重機が後進する際、誘導員が重機に近づき過ぎていたこと。

### 【事故防止のポイント】

- ・重機の作業半径内は立ち入り禁止。
- ・誘導員はオペレータから見える位置で誘導を行うなど、安全管理の周知・徹底。  
など

発生日時	平成 21 年 11 月 21 日 (土) 16 時 40 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	架空線切断(警察のナンバー読取システム)		
事故概要	バックホウのアームを上げたまま走行したため、上空の架空線(警察Nシステム)に接触し切断した。		

## 事故発生状況



・仮置していた土砂を場外搬出するためダンプに積み込んでいた。  
 ・作業が終わり、次の場所に移ろうとした際、**バックホウのアームを上げたまま走行**し、上空の架空線に接触、切断した。(作業後の移動時のため、オペレータ1人で作業していた。)

### 【事故発生原因】

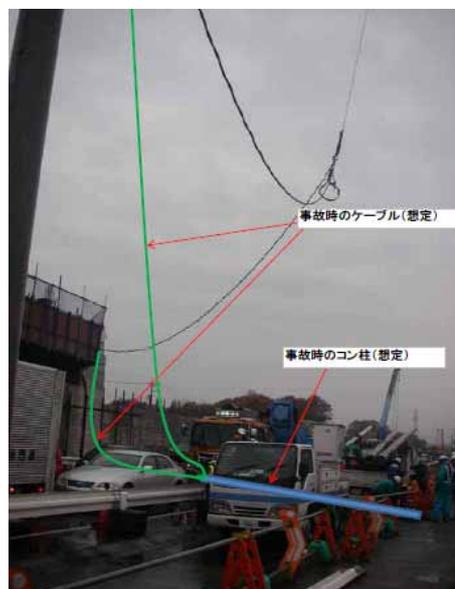
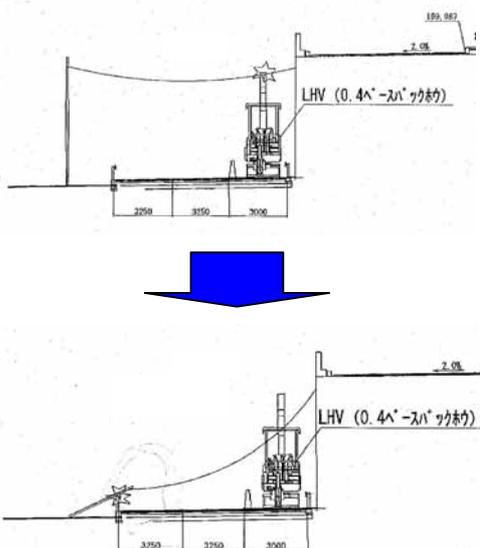
・バックホウのアームを上げたまま走行していること。

### 【事故防止のポイント】

・「走行時バックホウのアームを下げる」の周知・徹底。  
 ・重機旋回時、移動時には周囲の状況を目視で確認する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 25 日 (水) 4 時 30 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	信号ケーブル電柱の折損	
事故概要	鋼矢板引き抜き作業が終了し、建設機械(LHV)を移動させていたところ、上空の架空線(信号ケーブル)に機械アームが接触し、電柱を倒してしまったもの。				

## 事故発生状況



- ・当日の夜間作業が終了し、片づけ作業に入るところだった。
- ・現場内を建設機械の**アームを上げたまま移動**したため、上空の架空線(約7m)に接触。
- ・接触した反動で電柱が引っ張られ、根元から折れたもの。

### 【事故発生原因】

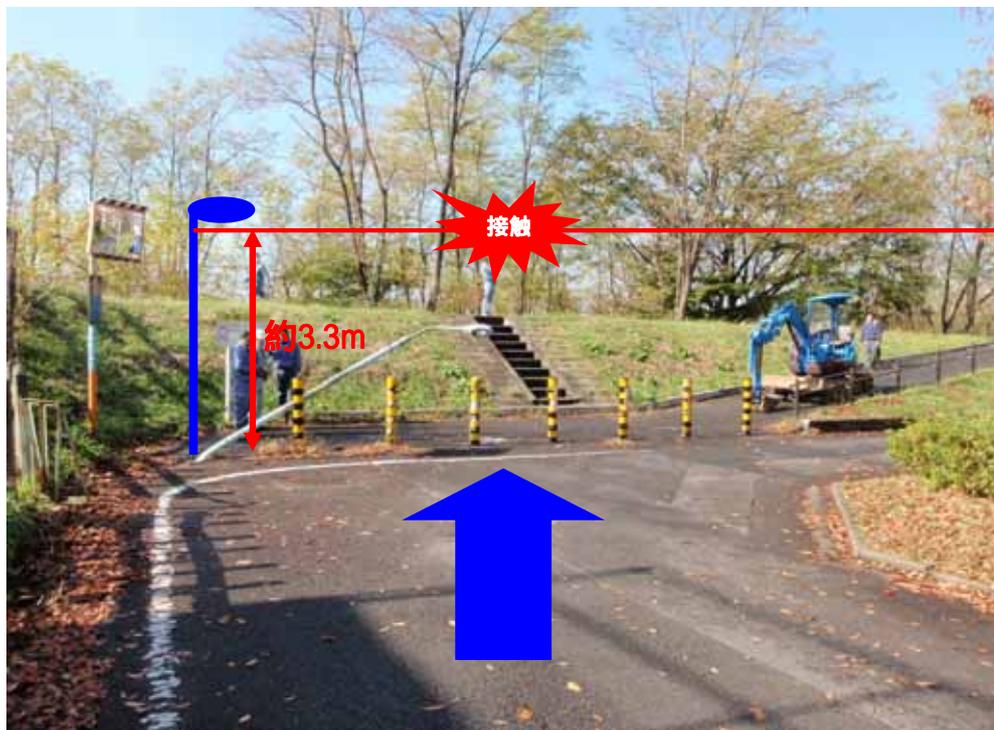
- ・現場内で架空線に対する注意喚起がなされていなかったこと。
- ・バックホウ(LHV)の**アームを上げたまま移動**したこと。

### 【事故防止のポイント】

- ・**「走行時バックホウのアームを下げる」**の周知・徹底。
- ・**三角旗・のぼり旗等で架空線の存在を明示する。** など

発生日時	平成 21 年 11 月 25 日 (水) 10 時 40 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	電力線の切断及び街路灯破損	
事故概要	ミニバックホウを積載したトラックが坂路から河川内に入るとき、入口部の上空に通っていた架空線に接触し、電力線を切断、街路灯を破損させたもの。				

## 事故発生状況



- ・当日は、堤防天端に車止めを設置するため、トラックにミニバックホウを積載し現場に持ち込むところだった。
- ・河川内に入るとき、入口部上空に通っていた架空線に気が付かず、積載していたミニバックホウ上部が架空線に接触し、切断させた。

### 【事故発生原因】

- ・資材搬入経路について、事前に確認が行われていない。  
(別途工事車両用の出入口あり)

### 【事故防止のポイント】

- ・資材運搬ルートについて事前に確認する。 など